

平成30年度第2回愛媛県今治構想区域地域医療構想調整会議 議事概要

- 1 日時 平成31年2月28日（木）15：00～16：25
- 2 場所 愛媛県今治支局 4階大会議室
- 3 出席者 委員16名（うち代理1名）、委員随行者8名、事務局8名
- 4 公開 会議全体を非公開にて開催

5 議題及び主な発言内容

(1)「病床機能報告の経過について」

事務局から、ここ1年の病床の動きを資料により報告した。

今治構想区域の許可病床数は1年前と比べると、病院の一般病床が24床と介護療養病床94床が減少し、診療所は一般病床が15床減少した。

また、「地域医療構想の推進に関する国の動き等」として、厚生労働省から通知された内容を説明し、「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入」については、愛媛県では、他県で導入している方式を参考に現在基準を検討しているので今後報告することとした。

(2)「平成31年度地域医療介護総合確保基金事業の追加要望等に係る説明について」

(3)「今治構想区域における地域医療の課題等について」

○ 二次救急医療体制について（報告）

平成30年4月から、毎週土曜日・日曜日に、今治市医師会市民病院へ愛媛大学医学部より医師2名看護師2名からなる救急医療チームの派遣を受けており、その診療実績を今治市医師会が説明した。

救急医療チームに加え、市内の病院に勤務する看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務員の協力もあり救急体制が維持できている。

しかし、この救急医療チームの派遣は今治の救急体制への応急的対応で、更なる体制の構築が必要である。

○ 今治市の医療・保健・福祉等の連携に関する課題 ～不登校に関して～

今治市医師会の精神科医師から、医師会に「今治市内に中学生の不登校生徒がたくさんおり、精神科医師も積極的に支援を行っているが限界があり、不登校のまま卒業している生徒もおり問題と捉えているので医師会で動いてほしい。」との依頼があり、議題とした。

事務局が今治市内の現状について関係各機関を訪問し、調査結果を資料により報告し、次の意見があった。

<議長> 診療所でケースカンファレンスを実施しているが、不登校になっている背景が色々あるので医療の取り組みだけでは限界がある。

<委員> 色々な機関が一生懸命取り組んでいることがわかるが、各機関の縦割りの対応になっていると思われる。当事者の意見を聴きながらそれらを横断的に結び付け、総合的に判断する担当の人を作っているようなことになってないのか。

⇒ 事務局 不登校に関して実態を把握し報告させていただいたが、主になって対応する機関がないのが現状であり、何が足りないかは委員の皆様にも意見をいただきたい。不登校の問題は学校や教育委員会の取り組みが不可欠と考えている。

〔事務局〕 今治保健所 企画課 電話 0898-23-2500 真鍋(内線 254) 高津(内 線 315)
